



内外装モールディング装飾材

WALL DECO

ウォール・デコ

Ver.7

最大の特長は“自由設計”です。様々なデザインに対応。
自由な発想で建築物をデコレーションする製品です。



MARUI



WD 外装

「ウォール・デコで

美しい建築物の創造、他とは違った
可能にしたウォール・デコ。

低コストにて製作可能な上、簡単に
施工できます。

世界中で認められている次世代の
建築方法です。



個性が生まれる。」

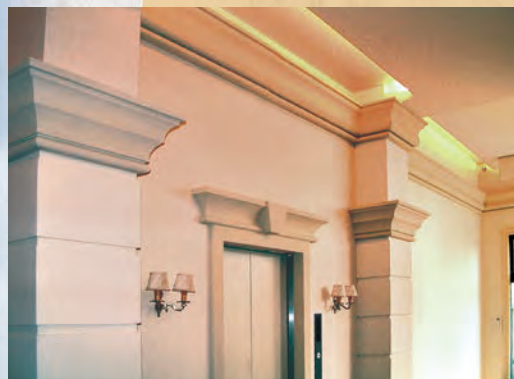
オリジナル性に富んだデコレーションを

WD

内装



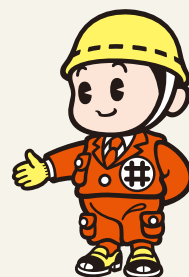
■金沢／ヴィラ・グランディス ウェディング リゾート 金沢

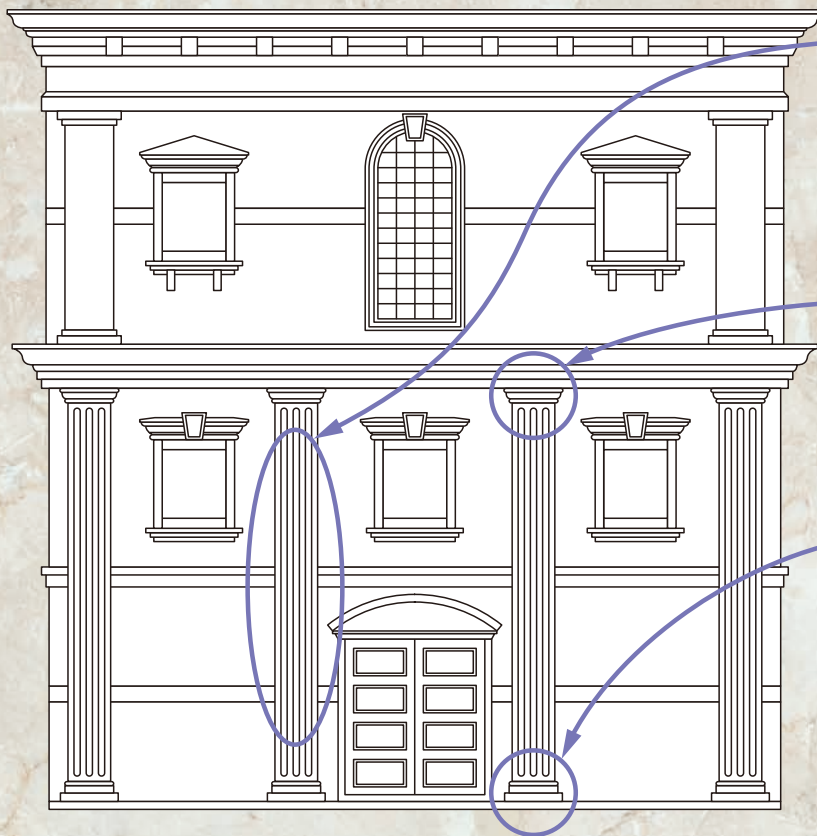


目

次

ウォール・デコ【柱/柱頭/台座】	p3
ウォール・デコ【柱/柱頭/台座】規格品一覧	p4
ウォール・デコ【パラペットボーダー/ボーダー/幕板/平板】	p5
ウォール・デコ【パラペットボーダー/ボーダー/幕板/平板】規格品一覧	p6
ウォール・デコ【窓廻り】	p7
ウォール・デコ【窓廻り】規格品一覧	p8
ウォール・デコだから出来ること ①～⑤-3	p9～p16
施工手順 ①～④	p17～p20
選択項目	p21
施工要領	p22
専用接着剤について	p23
ウォール・デコ 製品特長/ウォール・デコ表面仕上/使用材料の特長	p24
ウォール・デコ 発注書	p25～p26
ウォール・デコ 施工写真 ①～②②	p27～p52
ウォール・デコ 物性データ	p53





柱

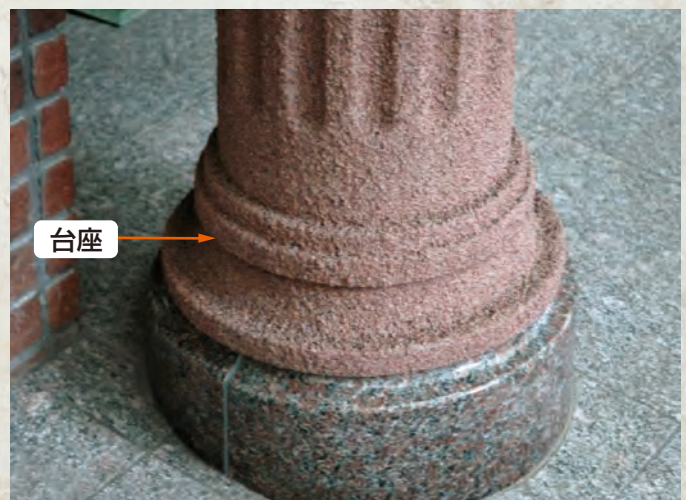
柱に施される装飾となります。ウォール・デコ装飾の代表的な施工部位となります。エントランスや軒先などの演出に最適な装飾です。

柱頭

柱の上部に施される装飾となります。ありふれた丸柱・角柱の柱頭部に鉢巻するだけで柱の印象が大きく変わります。

台座

柱の下部に施される装飾となります。柱頭飾りと同様にありふれた丸柱・角柱に変化を持たせます。柱頭飾りと組み合わせる事により柱の印象が変わります。





柱



PP-101

標準柱



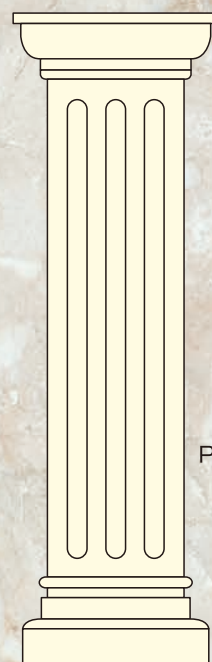
PP-102

円錐柱



PP-103

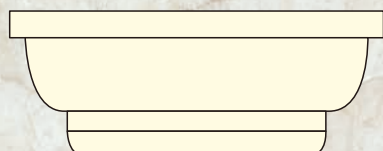
エンタシス柱



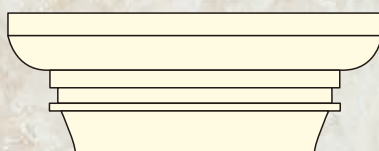
PP-104

標準柱(リブ付)

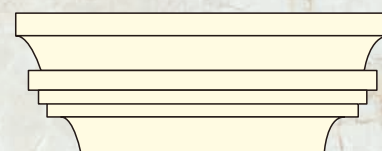
柱頭



PC-101

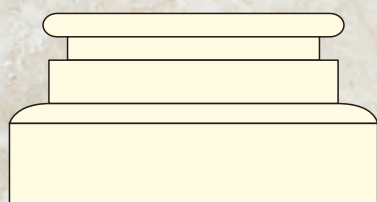


PC-102

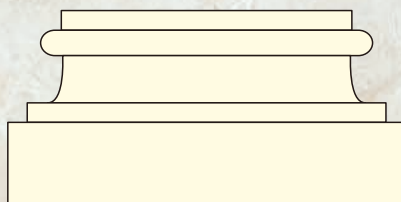


PC-103

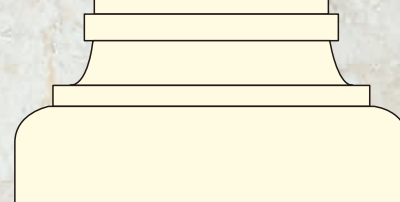
台座



PD-101

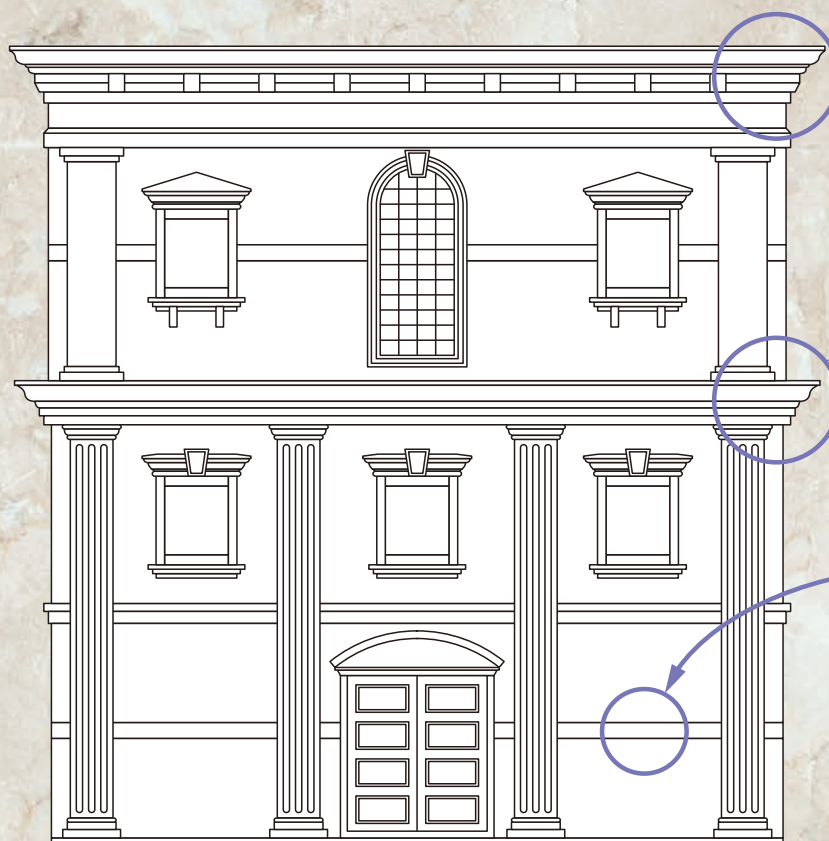


PD-102



PD-103

※柱径に合わせ、様々な形状が製作可能です。



パラペットボーダー(ディンテル付)

屋上部に施工されるボーダーになります。建築物に表情を持たす代表的な装飾部位になります。ディンテル(歯型)付で更に重厚感が増します。

ボーダー

建築物の各階に施工されるボーダーになります。パラペットボーダーと組み合わせる事により装飾の調和が図れます。

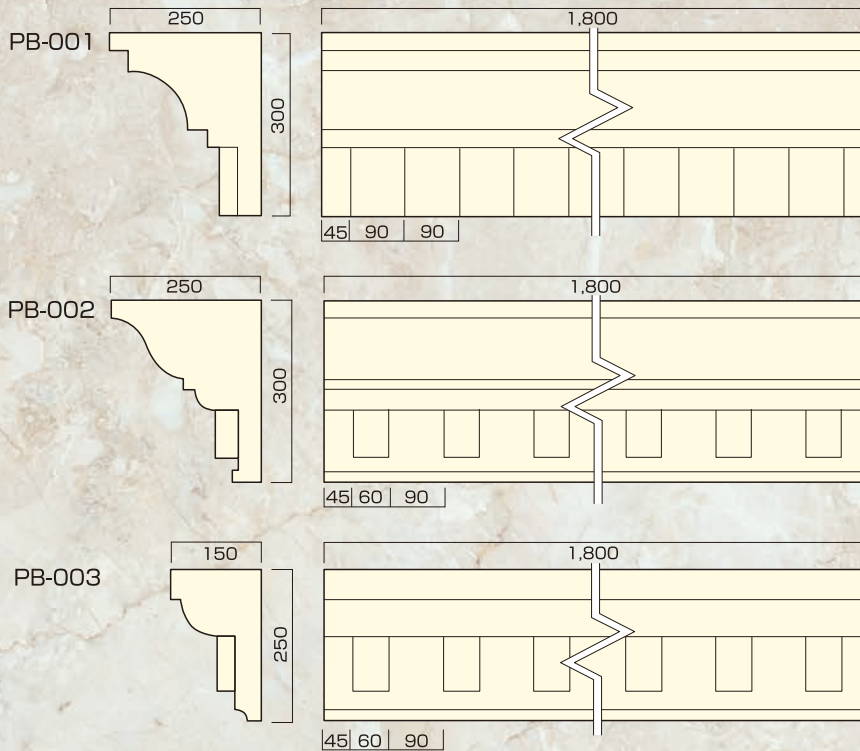
幕板・平板

建築物の見切り部分に施工される装飾部位となります。平板・幕板は、他の装飾と組み合わせる事は勿論。発想次第でアクセントの効いた装飾が可能です。

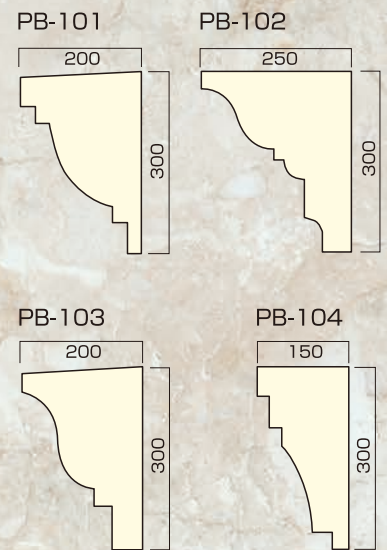




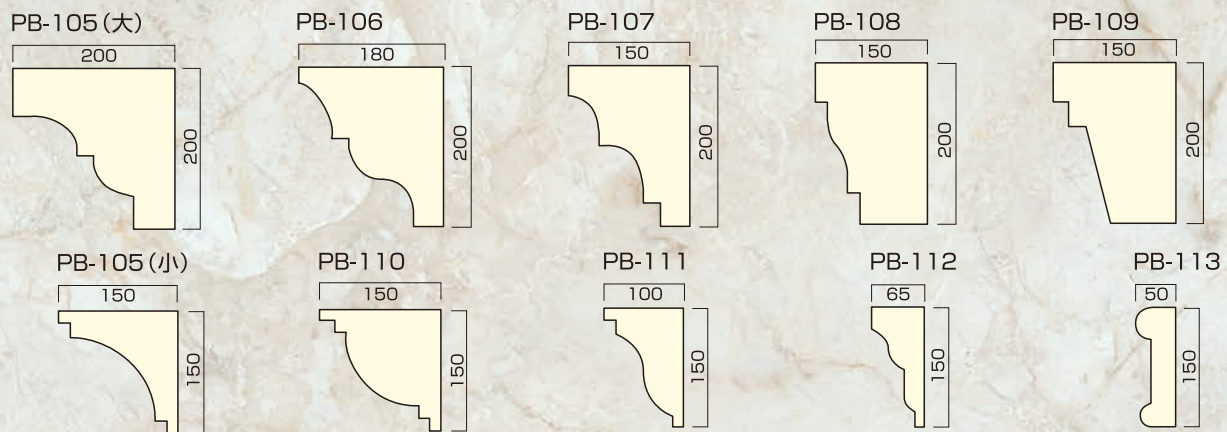
パラペットボーダー(ディンテル付)



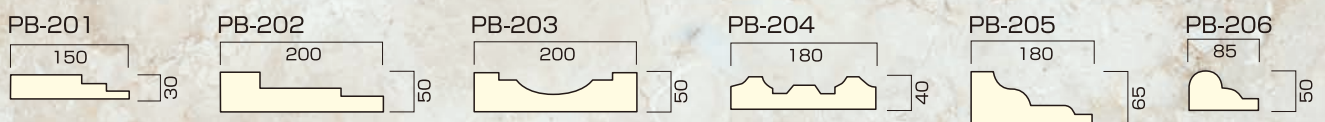
パラペットボーダー



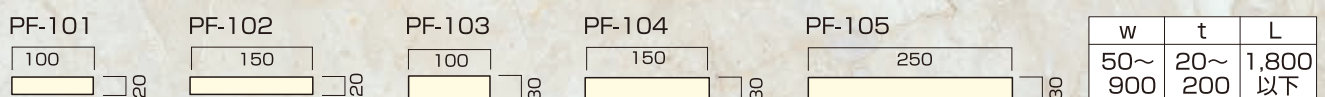
ボーダー



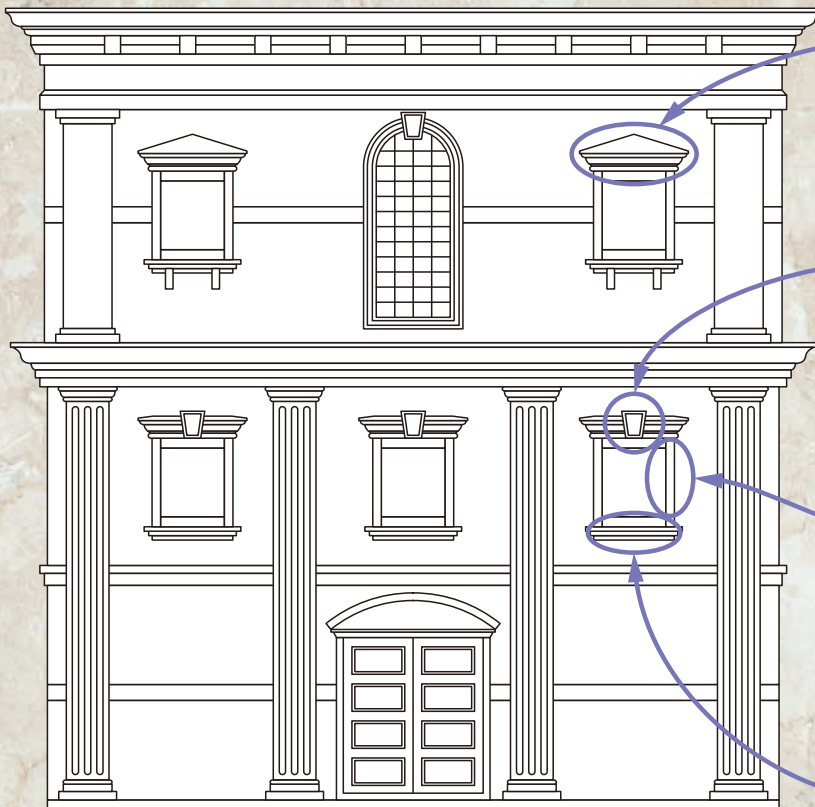
幕板



平板



※上記以外のサイズも製作可能です。



ウィンドウヘッド

窓廻り上部に施す装飾となります。製品形状、製品サイズにより窓廻りの印象を大きく変えることができます。

キーストン

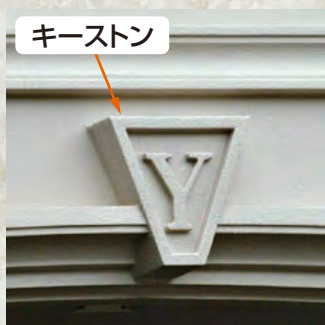
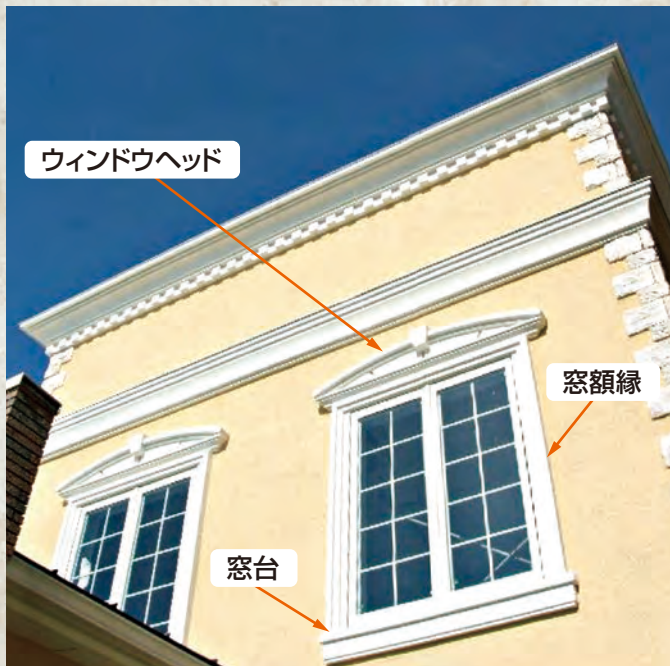
文字通り鍵になる石です。ウィンドウヘッドの中央に施工される装飾となります。オーナー様のイニシャル等をキーストンとしてご提案ください。

窓額縁

窓廻り両サイドに施される額縁装飾となります。工夫次第でウィンドウヘッド、窓台としての設計も可能です。三方飾り四方飾り予算を抑えた設計が可能です。

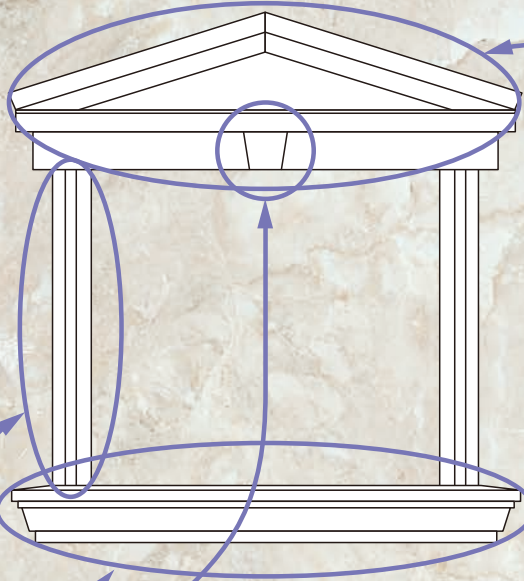
窓台

窓廻り下部に施す装飾となります。ウィンドウヘッド同様に製品形状、製品サイズにより窓廻りの印象を大きく変えることができます。

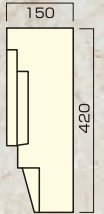
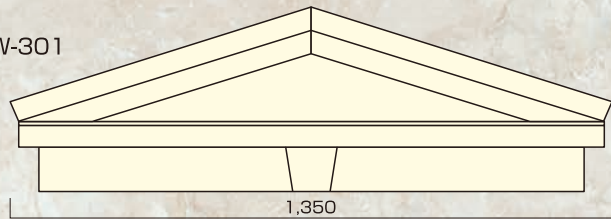




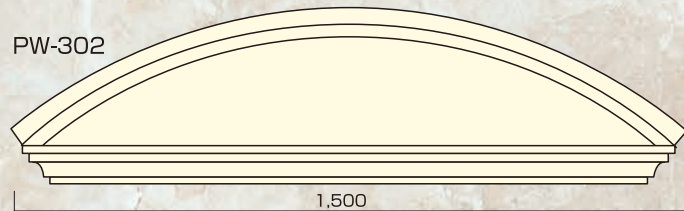
ウィンドウヘッド



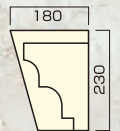
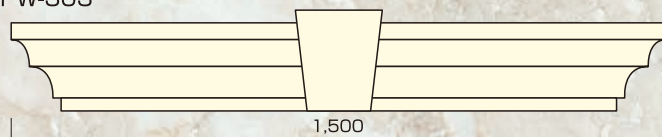
PW-301



PW-302

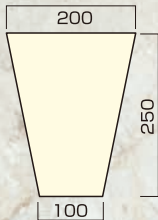


PW-303

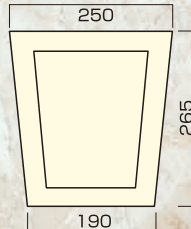


キーストン

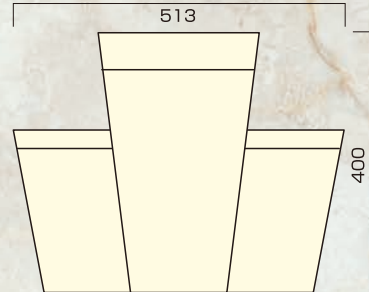
PK-101



PK-102



PK-103

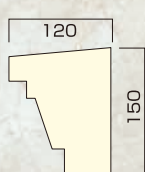


窓台

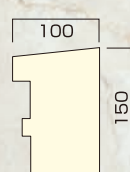
PW-201



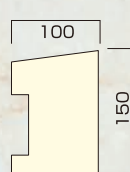
PW-202



PW-203



PW-204



PW-205



窓額縁

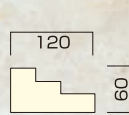
PW-101



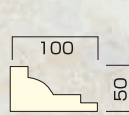
PW-102



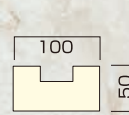
PW-103



PW-104



PW-105



※上記以外のサイズも
製作可能です。

ウォール・デコだから出来ること ①

Wall Decoration



イメージーションをデコレーションに変える理想的な建築資材。
ちょっとした発想が建築物の表情を豊かに変える。コストを抑えたリニューアルを提案。



窓台をつけるだけで建物の表情が変わります。



製品特性が細かい表現を可能にします。



リビングの窓には厚みを付けて重厚感UP!!

木造住宅の外装をウォール・デコでグレードアップ!!
軒先を**ボーダー(ディンテル付)**の採用で重厚感がUP!!
リブ柱は、ウォール・デコの定番アイテムです。
予算に合わせて窓廻りの装飾にも強弱が付けられます。
ハーフサークル付の**ウィンドウヘッド・窓台・窓額縁**に
厚みを持たせることにより一層、
ゴージャスな様式に大変身しました。
楽しみながら自由発想!!
自由設計!!

マルイ坊やからの提案です。



ウォール・デコだから出来ること ②

Wall Decoration



軽量で施工性の良いウォール・デコ。その製品特性が新しい発想を生み出します。
新しい発想を“自由設計”で形に変えてオールマイティーに活用してください。

加工性能

鋸で簡単に切断可能。寸法合わせが容易です。



軽量性能

軽量で躯体に優しい
施工が可能です。

1



2



3



4



自由設計特性

建物の設備が干渉しても商品特性がカバー。



ウォール・デコだから出来ること ③

Wall Decoration

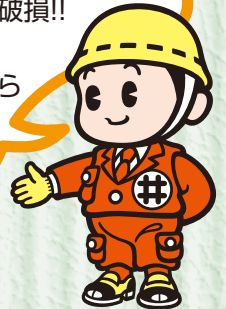


ウォール・デコなら商品特性で補修も簡単に行なえます。
ウォール・デコならどのような下地に対しても殆ど施工可能です。

補修性 仕上げ塗装後の破損も、現場で簡単に補修できます。



仕上げ塗装後、
重機をぶつけて破損!!
そんな時でも
ウォール・デコなら
楽々、復元
できます。



表現力 コンクリートの質感を最大限に追求!! お客様の無垢へのこだわりをウォール・デコが実現!!



ウォール・デコだから出来ること ④

Wall Decoration



下地との相性

様々な下地材に強力な接着剤で施工可能、設計の自由度が増します。

コンクリート・PC板・ALC板・鉄骨・木質系下地・プラスターボード・サイディングボード etc.
強力な接着剤を用い、殆どどの様な下地材に対しても相性抜群です!!

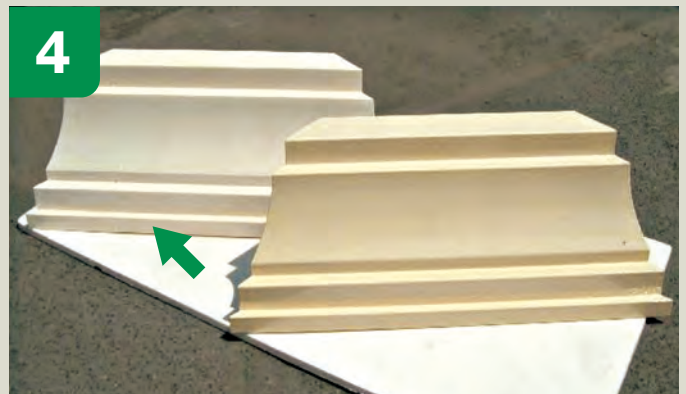


通常より厚く塗布したウレタンの表面にペーパー掛けをし、ピン角を実現!!

3



4



ウォール・デコだから出来ること ⑤-1

ウォール・デコだからこそ出来る、他の建設資材との融合。
ウォール・デコだからこそ自由な発想で建築物に表情を与えることが可能に成ります。



1
手摺子の芯材に30角パイプを採用。角パイプの天端は、笠木の芯材を取付ける為にボルトを溶接しました。



2
手摺子の芯材は、コア抜きした穴に100ミリ程度埋め込みました。芯材天端は、笠木に合せて勾配加工。



5
笠木の芯材には、手摺子芯材のボルトを通す為に長穴を設けています。



6
笠木本体を取り付けます。





下地が不安定な場所でもウォール・デコならではの施工が可能です。
ベース材は、発泡ポリスチレンフォームなのでカッターナイフで切ったり削ったりする事も出来ます。



手摺子本体には、予め芯材の差込用の角穴を設けています。手摺子のレベルを確認後、斜めカットの墨を打ちます。



手摺子の天端を斜めカットして行きます。下端に出来た隙間には専用ボンドを充填して手摺子を安定させます。



笠木本体を取り付けます。水平部分との取り合いのカットも現場合合わせの調整が可能です。



硬質ウレタンでコーティングされたウォール・デコ、他の建築資材との融合で人の手が触れる手摺でも採用。



ウォール・デコは、表面硬度の高いウレタン樹脂をまとった建築資材です。こちらの現場では、内部に角パイプで加工した手摺下地を組み込むと言う自由な発想でウォール・デコを有効活用しています。





1 欄干のピン下地材です。根元に止水効果のあるコーキングをします。



2 欄干の台座を取り付けます。



3 専用ボンドを塗布します。



4 欄干台座の接続部および隙間には、コーキング処理をします。



5 欄干のピン下地材に専用ボンドを塗布します。



6 欄干のピンを差込みます。



7 欄干ピンの上に笠木の下地材を取り付けます。



8 笠木の下地材をビスで固定します。固定部には止水コーキングします。



9 笠木を取り付け施工完了です。



こちらの現場でもウォール・デコを欄干部で採用しています。ピンの下地材は、角パイプの中に寸切ボルトを仕込んだ物になります。角パイプと寸切ボルトの隙間にモルタルを流し込み固定。笠木の下地材を固定し笠木本体を取り付けます。



一液型接着剤を用いた施工手順



1 下地調整 取付け面が、平滑であることを確認して下さい。また、壁面の汚れ等の清掃も行なって下さい。



2 墨出し 取付け位置上部もしくは、下部に墨出しを行なって下さい。



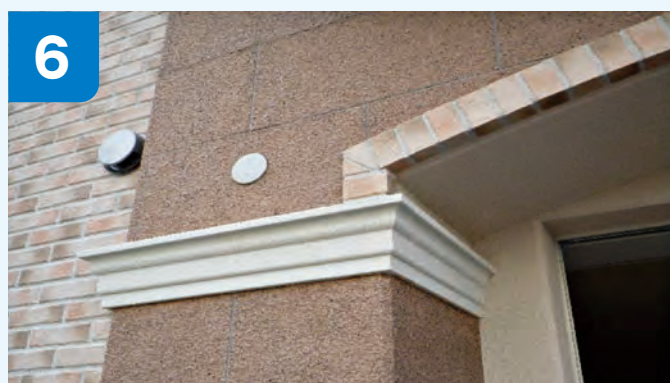
3 接着剤:エフレックス/KU928C-X塗布 製品の背面に専用接着剤を3mm程度の厚さで塗布して下さい。



4 製品取り付け 製品を下地に押付け馴染ませて下さい。必要に応じてビスを併用して下さい。養生テープ等で製品のダレ防止の措置をして下さい。



5 シーリング・補修 製品ジョイント部分のシーリング処理を確実に行って下さい。



6 仕上げ塗装 仕上げ塗材に付きましては、塗材メーカーにお問合せご相談下さい。その際、防水性の高い外装用塗材を使用して下さい。



エフレックス(変性シリコン)

- 1液常温硬化性の接着剤です。
- 常温で200%の伸びを示し外部からの応力を吸収します。
- 50℃～100℃で安定した接着性を示します。



KU928C-X(ウレタン)

- 1液型ウレタン樹脂系の接着剤です。
- F★★★★認定品です。
- 各種木質下地材に対して優れた接着性を発揮します。



ニューモクレンガを用いた施工手順



1 下地調整・墨出し 取付け面が、平滑であることを確認し、壁面の汚れ等の清掃を行いニューモクレンガ取付け位置に墨出しを行なって下さい。



2 ニューモクレンガ取付け 取付け位置に対してニューモクレンガの向きを確認の上、接着剤とビスを併用し確実に固定して下さい。



3 接着剤の塗布 製品の背面(目地材背抜き部分含)に専用接着剤を3mm程度の厚さで塗布して下さい。



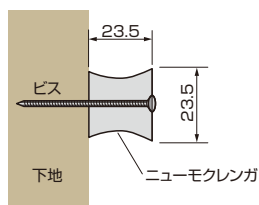
4 製品取り付け 製品を下地に押付け馴染ませて下さい。必要に応じてビスを併用して下さい。養生テープ等で製品のダレ防止の措置をして下さい。



5 シーリング・補修 製品ジョイント部分のシーリング処理を確実に行って下さい。



6 仕上げ塗装 仕上げ塗材に付きましては、塗材メーカーにお問合せご相談下さい。その際、防水性の高い外装用塗材を使用して下さい。



ニューモクレンガの特長と施工要領

- 木製品と違い腐敗する事ありません。
 - 保温性抜群で、殆ど吸水しないため結露防止に最適です。
 - 下地に対して平面側が接する様に施工をして下さい。凹部に接着剤が回りアンカー効果が増します。
 - ビス使用ピッチは500mmとしなるべく垂直に打ち込む様にして下さい。
- ウォール・デコの大きさに応じて使用ピッチを調整して下さい。



ウォール・デコアンカーを用いた施工手順



1 下地調整・墨出し 取付け面が、平滑であることを確認し、壁面の汚れ等の清掃を行いウォール・デコアンカー取付け位置に墨出しを行なって下さい。



2 ウォール・デコアンカー取り付け 取り付け位置に対して接着材とビスを使用し確実に取り付けて下さい。



3 接着剤の塗布 製品の背面に専用接着剤を3mm程度の厚さで塗布して下さい。



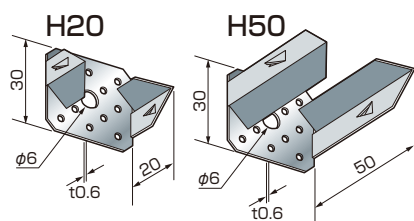
4 製品取り付け 製品を下地に押付け馴染ませて下さい。必要に応じてビスを併用して下さい。養生テープ等で製品のダレ防止の措置をして下さい。



5 シーリング・補修 製品ジョイント部分のシーリング処理を確実に行って下さい。



6 仕上げ塗装 仕上げ塗材に付きましては、塗材メーカーにお問合せご相談下さい。その際、防水性の高い外装用塗材を使用して下さい。



ウォール・デコアンカーの特長と施工要領

- 躯体に、接着剤とビスを使用しウォール・デコを仮止めする金物です。
- ウォール・デコが完全に固定されるまで、ウォール・デコのズレや垂れを防止出来ます。
- 断熱材の固定にも使用できます。
- 取り付けピッチは500mmとし下さい。
ウォール・デコの大きさに応じて使用ピッチを調整して下さい。



ウォール・デコ補強アンカーを用いた施工手順



1 下地調整・墨出し 取付け面が、平滑であることを確認し、壁面の汚れ等の清掃を行いウォール・デコ補強アンカー取付け位置に墨出しを行なって下さい。



2 ウォール・デコ補強アンカー取付け 取付け位置に対してウォール・デコ補強アンカーを確実に固定して下さい。



3 接着剤の塗布 製品の背面に専用接着剤を3mm程度の厚さで塗布して下さい。また背抜き切り欠き部分にも接着剤を充填して下さい。



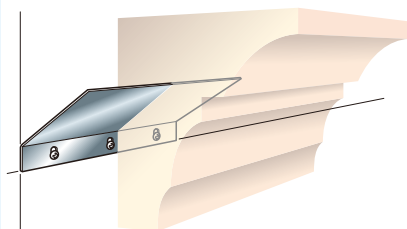
4 製品取り付け 製品背抜き部分をウォール・デコ補強アンカーに差し込んで下さい。養生テープ等で製品のダレ防止の措置をして下さい。



5 シーリング・補修 製品ジョイント部分のシーリング処理を確実に行って下さい。



6 仕上げ塗装 仕上げ塗材に付きましては、塗材メーカーにお問合せご相談下さい。その際、防水性の高い外装用塗材を使用して下さい。



ウォール・デコ補強アンカーの特長と施工要領

- 角度のついたアンカープレートで、上からの荷重を保持、接着面からの剥離、落下を防止し、より安心な施工が出来ます。
- 取り付け面に取り付け基準ラインを入れて在りますので、位置調整が容易です。



① ベース材背面加工 ※施工方法に応じて製品背面の形状が変わります。



ウォール・デコ本体を躯体へ取り付ける際。
接着剤のみで施工する場合や**ウォール・デコアンカー**を使用する場合は、背面加工は有りません。



ウォール・デコ本体を躯体へ取り付ける際。
ニューモクレンガを使用し施工する場合は、ウォール・デコの背面にニューモクレンガ用の背抜き加工が入ります。



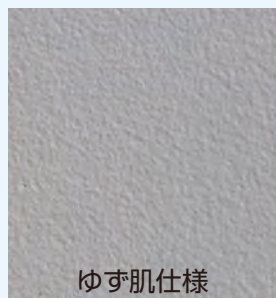
ウォール・デコ本体を躯体へ取り付ける際。
ウォール・デコ補強アンカーを使用し施工する場合は、ウォール・デコの背面にウォール・デコ補強アンカー用の背抜き加工が入ります。



② ベース材の背面および端面の表面処理

ウォール・デコの製品本体の背面および端面には、製品の歪み防止のためにあらかじめウレタンを薄く塗布してあります。ウレタン塗布の必要がない場合は、ご指示ください。

③ ウレタン吹付けの仕様 ※内外装の仕上処理に応じウレタン吹付け表面仕様が選択できます。



ウォール・デコは、EPS表面にウレタン樹脂を塗布後、仕上塗料の表面吸着性を高める為、サフェーサー（ホワイト・グレー）が吹付けてあります。サフェーサーはホワイト又はグレーからお選び下さい。

④ 吹付け仕上オプション ※弊社、取扱い色のみとなります。※塗装した製品を出荷いたします。



※B仕様に限ります。



① 下地調整

取付け面が、平滑であることを確認して下さい。また、壁面の汚れ等の清掃も行なって下さい。
不陸が、L1800に対し6mm以上ある場合、躯体をモルタル等で平滑にするかサイディングを行なって下さい。

② 墨出し

取付け位置上部もしくは下部、またはニューモクレンガ、ウォール・デコアンカー、ウォール・デコ補強アンカー固定部に墨出しを行なって下さい。

③ ニューモクレンガ、ウォール・デコアンカー、ウォール・デコ補強アンカーの取付け

施工に際しニューモクレンガ、ウォール・デコアンカー、ウォール・デコ補強アンカーを使用する場合、取付け面に確実に固定して下さい。

④ 接着剤の塗布

- (1) RC・PC・ALCの場合
ウォール・デコの裏面に専用接着剤(エフレックス、KU928C-X)を厚み3mm程度塗布して下さい。
- (2) 鉄骨系下地、木質系下地等
ウォール・デコの裏面に専用接着剤(エフレックス、KU928C-X)を厚み3mm程度塗布して下さい。

⑤ 取付け調整

ウォール・デコ製品が長い場合は調整カットをして下さい。その際、切断小口には専用接着剤(エフレックス、KU928C-X)にて必ず補修をして下さい。
接着剤を塗布したウォール・デコを下地に押し付け、前後左右に圧着しながら動かし下地に馴染ませて下さい。多少の不陸調整が可能です。ジョイント部分の平滑を見て、はみ出した接着剤は、取り除いて下さい。

- (1) PC面への取付け
接着剤が乾くまで、ビス、養生テープ等で固定して下さい。ニューモクレンガ、ウォール・デコアンカー、ウォール・デコ補強アンカーを使用しますと施工が早くなります。
- (2) ALC・木下地への取付け
ビスを併用しますと施工が早く成ります。
その際、ALCビスは頭部より5～10mm程度の深さまで埋設して下さい。
埋設時にウォール・デコ製品面に発生した穴につきましては、専用接着剤で補修して下さい。

⑥ 接着剤の乾燥

接着後の乾燥時間は、エフレックス、KU928-Xの場合には96時間前後を目安にして下さい。

⑦ シーリング補修

必要に応じてシーリング・目地処理を行なって下さい。シーリング材は、無溶剤系を使用して下さい。
天候が降雨や積雪時の場合は、補修及び施工は避けて下さい。
接着面が濡れている場合は十分乾燥した事を確認のうえ施工して下さい。

⑧ 点検・仕上り

取付け状況、仕上り状況の確認をして下さい。表面に凹凸がある場合は、専用接着材を塗布して調整を行なって下さい。

⑨ 仕上げ塗装

仕上げ塗材につきましては、塗材メーカーにお問い合わせ相談ください。
その際、防水性の高い外装用塗材を使用して下さい。
仕上げ塗装時に使用するシーラーは、必ず水性タイプを使用して下さい。
※ 現場塗装の塗膜品質につきましては、当社は責任を負いかねます。

【ウォール・デコ製品の取り扱い注意事項】

- ウォール・デコの周辺で火気を使用する際は、細心の注意を払って下さい。 また、変形の可能性がありますので高温物を近づけない様にして下さい。
- ウォール・デコは水平な場所で保管して下さい。運搬時、施工時など製品に強い衝撃を与えない様にして下さい。
- ウォール・デコは軽量製品のため足場や屋上で保管する場合、風圧による飛来・落下が起きないように養生して下さい。また、雨水等に濡れないようシートを掛けて養生をして下さい。



1液常温硬化型・変成シリコンエポキシ樹脂系接着(カートリッジ入り)

ボンド エフレックス

JAIA F☆☆☆☆
JAIA 4VOC基準適合



「ボンド エフレックス」は、常温で硬化する1液型の変成シリコンエポキシ樹脂接着剤です。マイナス30℃でも優れたゴム弾性を示す低温特性を有しています。また、計量、混合などの手間がなく、可使用時間の制約がないため使い易さも抜群。エポキシ樹脂のもつ優れた性能を活かした柔軟性のある接着剤です。各種被着材に対し良好な接着強度が得られますので、ウォール・デコの専用接着剤として推奨できる商品です。

- 特長**
- 混合不要の1液で常温硬化する変成シリコンエポキシ樹脂接着材、充てん材です。
 - 常温で200%以上の伸びを示し、外部からの応力(振動・膨張・収縮)を吸収します。
 - 30℃～80℃の広範囲でゴム弾性を示します。
 - 各種被着材(コンクリート・金属・石材・タイル・プラスチックなど)によく接着します。
 - 石材への汚染がほとんどありません。

1液ウレタン樹脂系木質床貼り施工用接着剤(カートリッジ入り)

ボンド KU928C-X

JAIA F☆☆☆☆
JAIA 4VOC基準適合



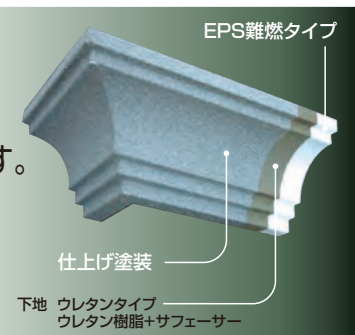
「ボンド KU928C-X」は、各種木質系材料の施工に適した、高性能一液湿気硬化型ウレタン樹脂接着剤で、作業性に優れたジャンボカートリッジ入りです。KU928C-Xの硬化皮膜は適度な弾性を持っています。また、木材の乾燥・吸湿にともなう寸法変化を抑制する効果もあります。耐水、耐熱、耐油性に優れています。各種木質系材料やコンクリートに対して良好な接着強度が得られますので、ウォール・デコの専用接着剤として推奨できる商品です。

- 特長**
- JIS A 5536 F☆☆☆☆対応品で、各種木質材に対し、優れた接着性を示します。
 - 人体に対する有害溶剤を含んでおらず、臭気はほとんどありません。
 - 非危険物のため、火気に対する安全性が高くなっています。
 - 耐水・耐火・耐油性に優れ、水まわりの施工にも適しています。
 - 木質床材の膨張・収縮を制御する効果があり、床暖房施工にも使用できます。



最大の特長は“自由設計”です。様々なデザインに対応。
自由な発想で建築物をデコレーションする製品です。

- ベース材に難燃タイプのEPSを用い、軽量で加工性に優れています。
- ウレタン樹脂コーティングで耐衝撃性・防水性・耐久性に優れています。
- ウレタン樹脂表面にサフェーサーを塗布、仕上げ塗装の吸着性に優れています。
- FRP・GRCに比べ優位です。
- 後付けで施工が出来るため大幅な工期短縮が可能です。
- 接着剤及び施工補助金具により、殆どの下地に施工可能です。



軽量で取り付け簡単!! 合理的な発想のもと開発された理想的な建築資材!!

ウォール・デコ表面仕上

- ◎ウレタンサフェーサー付(準平滑仕上)
- ◎ウレタンサフェーサー付(ゆず肌仕上)
- ◎ウレタンサフェーサー付(各種吹付けオプション)

使用材料の特長

●ウォール・デコのベース材

ウォール・デコのベース材は自己消化性を有する難燃タイプの
ビーズ法ポリスチレンフォーム(EPS)を使用しています。

●ウォール・デコの表面下地材

ウレタンタイプ

表面下地材は、強化防水型ウレタン樹脂をコーティングしてあります。
ウレタンをコーティングする事により、耐久性に優れています。
また、ウレタン樹脂の表面にはサフェーサーを塗布してあります。
これにより、ほとんどどのような仕上材でも塗れる表面吸着性の優れた下地材です。

●ウォール・デコ下地材と接着剤

エフレックス・KU928C-X

ウレタンタイプには、エフレックス・KU928C-Xを使用して下さい。



仕上塗装に際しての注意

- ◎シーラーは必ず水性タイプを使用して下さい。
- ◎仕上げ塗材につきましては、塗材メーカーにお問合せ相談ください。
その際、防水性の高い外装用塗材を使用してください。



物件名			
お客様名		担当者様	
		携帯電話	
住 所	〒	TEL	
		FAX	
		E-mail	
設計事務所		納 期	

(1)施工部位にチェックして下さい。

(2)必要数量の記入をして下さい。

※必要数量の記入の際は①個数もしくは、②規格サイズ×本数又は、③総メーター数で、記入して下さい。

(3)下地材の種類を記入して下さい。※下地材の種類はP26下部に記載の下地材の中から選びアルファベットで記入して下さい。

①施工部位の選定

柱

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> PP-101 (数量 下地:) | <input type="checkbox"/> PP-102 (数量 下地:) |
| <input type="checkbox"/> PP-103 (数量 下地:) | <input type="checkbox"/> PP-104 (数量 下地:) |

柱 頭

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> PC-101 (数量 下地:) | <input type="checkbox"/> PC-102 (数量 下地:) |
| <input type="checkbox"/> PC-103 (数量 下地:) | |

台 座

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> PD-101 (数量 下地:) | <input type="checkbox"/> PD-102 (数量 下地:) |
| <input type="checkbox"/> PD-103 (数量 下地:) | |

パラペットボーダー(ディンテル付)

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> PB-001 (数量 下地:) | <input type="checkbox"/> PB-002 (数量 下地:) |
| <input type="checkbox"/> PB-003 (数量 下地:) | |

パラペットボーダー

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> PB-101 (数量 下地:) | <input type="checkbox"/> PB-102 (数量 下地:) |
| <input type="checkbox"/> PB-103 (数量 下地:) | <input type="checkbox"/> PB-104 (数量 下地:) |

ボ ー ダ ー

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> PB-106 (数量 下地:) | <input type="checkbox"/> PB-107 (数量 下地:) |
| <input type="checkbox"/> PB-108 (数量 下地:) | <input type="checkbox"/> PB-109 (数量 下地:) |
| <input type="checkbox"/> PB-110 (数量 下地:) | <input type="checkbox"/> PB-111 (数量 下地:) |
| <input type="checkbox"/> PB-112 (数量 下地:) | <input type="checkbox"/> PB-113 (数量 下地:) |
| <input type="checkbox"/> PB-105小 (数量 下地:) | <input type="checkbox"/> PB-105大 (数量 下地:) |



幕 板

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> PB-201 (数量 下地:) | <input type="checkbox"/> PB-202 (数量 下地:) |
| <input type="checkbox"/> PB-203 (数量 下地:) | <input type="checkbox"/> PB-204 (数量 下地:) |
| <input type="checkbox"/> PB-205 (数量 下地:) | <input type="checkbox"/> PB-206 (数量 下地:) |

平 板

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> PF-101 (数量 下地:) | <input type="checkbox"/> PF-102 (数量 下地:) |
| <input type="checkbox"/> PF-103 (数量 下地:) | <input type="checkbox"/> PF-104 (数量 下地:) |
| <input type="checkbox"/> PF-105 (数量 下地:) | |

窓 額 縁

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> PW-101 (数量 下地:) | <input type="checkbox"/> PW-102 (数量 下地:) |
| <input type="checkbox"/> PW-103 (数量 下地:) | <input type="checkbox"/> PW-104 (数量 下地:) |
| <input type="checkbox"/> PW-105 (数量 下地:) | |

窓 台

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> PW-201 (数量 下地:) | <input type="checkbox"/> PW-202 (数量 下地:) |
| <input type="checkbox"/> PW-203 (数量 下地:) | <input type="checkbox"/> PW-204 (数量 下地:) |
| <input type="checkbox"/> PW-205 (数量 下地:) | |

ウィンドウヘッド

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> PW-301 (数量 下地:) | <input type="checkbox"/> PW-302 (数量 下地:) |
| <input type="checkbox"/> PW-303 (数量 下地:) | |

キーストン

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> PK-101 (数量 下地:) | <input type="checkbox"/> PK-102 (数量 下地:) |
| <input type="checkbox"/> PK-103 (数量 下地:) | |

②ウォール・デコ表面仕上の選択 ※ウレタンタイプの標準品の場合、ベース材表面にウレタンを1mm～1.5mm程度の厚さで塗布してあります。ウレタンの厚みを指定したい場合は、希望厚のご記入をお願いします。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> ウレタンタイプ(準平滑仕上げ)【 mm】 | <input type="checkbox"/> ウレタンタイプ(ゆず肌仕上げ)【 mm】 |
|--|--|

③ベース材の背面および端面の表面処理の選択 ※指示のない場合は、標準品と成ります。

- | | |
|--|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ウレタン塗布必要(標準品) | <input type="checkbox"/> ウレタン塗布不要 |
|--|-----------------------------------|

④サフェーサー色の選択

- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ホワイト | <input type="checkbox"/> グレー |
|-------------------------------|------------------------------|

⑤施工方法の選択 ※施工方法により製品の背面加工の必要があります。

- | |
|---|
| <input type="checkbox"/> 一液型接着材のみを用いた施工方法(背面加工無) |
| <input type="checkbox"/> ニューモクレンガを用いた施工方法(背面加工有) |
| <input type="checkbox"/> ウォール・デコアンカーを用いた施工方法(背面加工無) |
| <input type="checkbox"/> ウォール・デコ補強アンカーを用いた施工方法(背面加工有) |

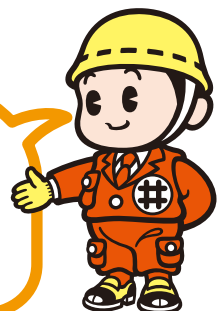
⑥吹付け仕上オプション ※ご希望の場合のみ記入して下さい。

- | | | | |
|------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> リシン | <input type="checkbox"/> 御影(黒) | <input type="checkbox"/> 御影(グレー) | <input type="checkbox"/> 御影(肌) |
|------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|

⑦下地材 ※下地材の種類をご確認下さい。

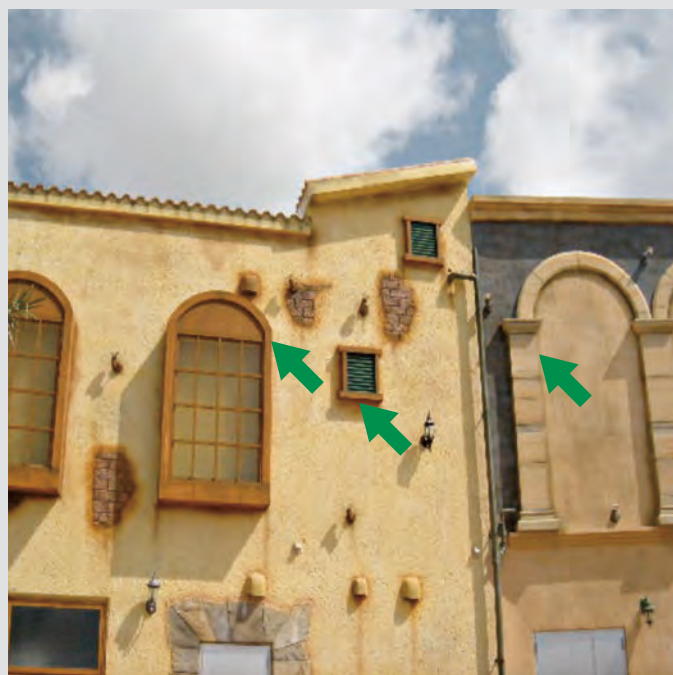
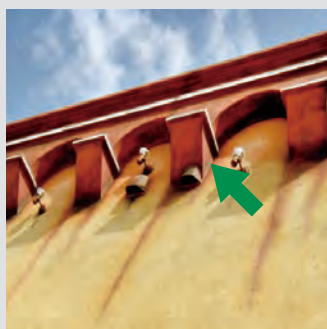
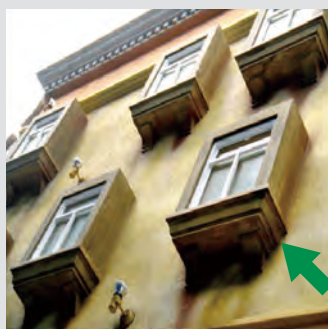
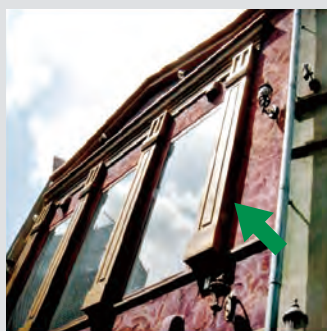
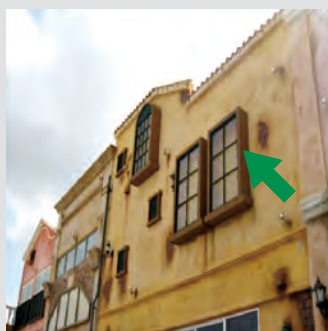
- (A) コンクリート (B) PC板 (C) ALC板 (D) 鉄骨 (E) 木地 (F) プラスターボード
(G) サイディングボード (H) その他()

ご不明な点が
御座いましたら、
弊社、担当者まで
お問合せ下さい。



ウォール・デコ 施工写真 ①

デコレーション M店舗(沖縄県中頭郡)



パラペットボーダー、窓廻り(ウィンドウヘッド・窓台・窓額縁)、肘木、付け柱、等々。全ての部位にポリウム満点の装飾を施しました。ウォール・デコの採用でテーマパークの様な外観に仕上がっています。



製品と施工写真



パラペットボーダー



窓台



付け柱



ボーダー(ディンテル付)



パラペットボーダー



パラペットボーダー



化粧飾り



肘木



デコレーション アドバンス21県庁東(鹿児島市)

建物区分=マンション



ディンテル付のボーダー、アーチ型ボーダー、柱頭部の鉢巻、キーストン、化粧モールとウォール・デコをふんだんに取り入れインパクトのあるアプローチに仕上がりました。



エントランス吹き抜けの手摺下部をウォール・デコの美しいボーダーラインが走ります。出隅・入隅共に絶妙の仕上がりです。



ボーダー(ディンテル付)



柱頭部(鉢巻)

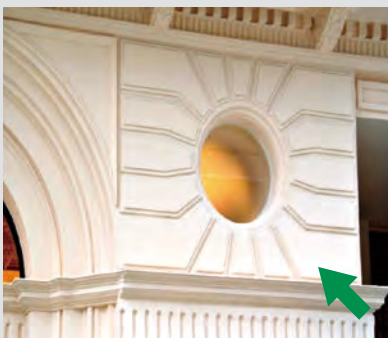


デコレーション 四分一(石川県金沢市)

建物区分=飲食店



「イタリアミラノのハイアットパークホテルの様な外観を!!」というオーナーのイメージをウォール・デコが見事に実現させました。象鼻、キャピタル以外は、全てマルイのウォール・デコです。



化粧飾り、アーチ飾り、出隅入隅のボーダーラインを巧みに装飾し奥行きのある美しい仕上がりになりました。



デコレーション 三里木保育園(熊本市)

建物区分=保育園



アプローチでボーダーと柱(リブ付)に採用。窓周りにはキーストン付の装飾を施しました。

デコレーション 西南幼稚園(福岡市)

建物区分=幼稚園



製品と施工写真

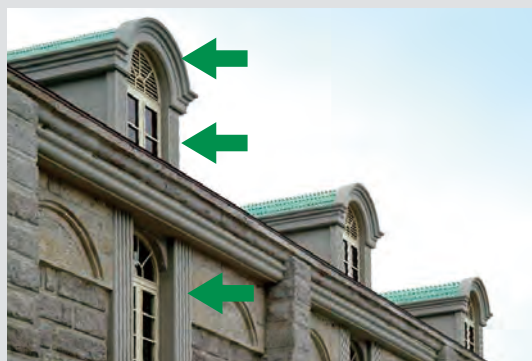


当初の図面指定は化粧用木材でしたが、EPS難燃材ベースで軽量素材のウォール・デコが施工性を認められ現場採用と成りました。コスト軽減と省力化に抜群の威力を発揮。幼稚園らしい明るい雰囲気の仕事塗装で感じよく仕上がっています。



デコレーション シーサイド平川(鹿児島市)

建物区分=多目的ホール



丸柱450φ=柱頭、台座、リブ胴体(挟み込み式) 軒先=両アゴ付、笠木 破風=三角屋根下部の段飾り
ドーマー=ハーフサークル、リブ縦枠 付け柱に窓廻り、高級感溢れる石造りの多目的ホールが完成しました。

製品と施工写真



内装(ボーダー、付け柱)

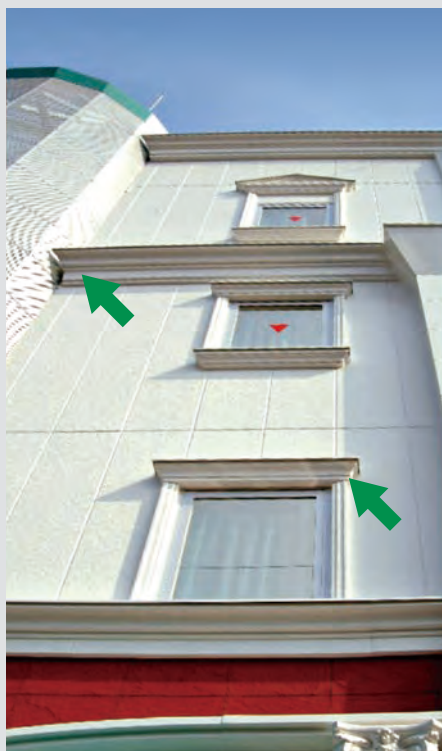


柱(台座)



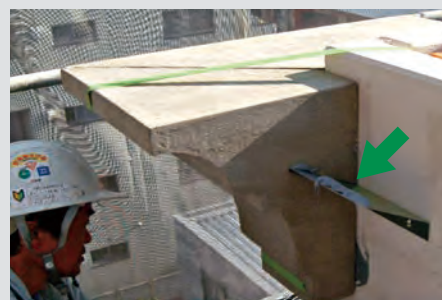
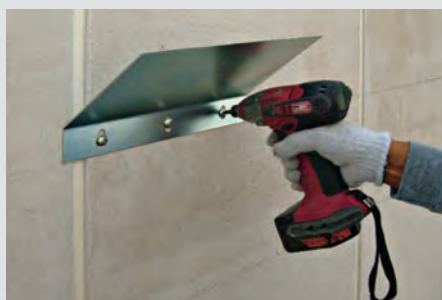
デコレーション タラ美容福祉専門学校(鹿児島市)

建物区分=専門学校



断面550X400の大型ボーダー3段と窓廻りの装飾です。見栄え良く迫力の仕上りに成りました。

製品と施工写真



製品サイズを考えてウォール・デコ補強アンカーを用いた施工に成りました。製品の背面にウォール・デコ補強アンカーに差し込む為の背抜き加工を施します。ウォール・デコ補強アンカーを使用する事で施工精度が向上します。



デコレーション ラック地域密着型特別介護老人ホーム(岐阜県本巣郡) 建物区分=老人ホーム

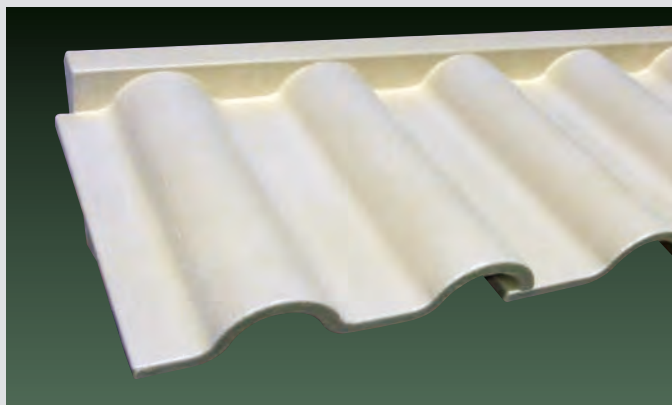


ウォール・デコの自由設計性能が伺える装飾に成りました。

製品と施工写真



ウォール・デコ補強アンカーを使用する事で、施工精度が向上します。



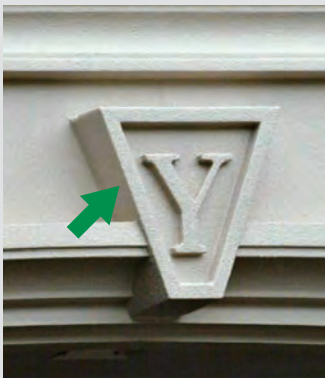


デコレーション 美里・光の岬(鹿児島県日置市)

建物区分=老人ホーム



窓廻り、ボーダーにウォール・デコを採用。装飾に強弱をつけることで、コストの調整が可能になります。



キーストン、アーチボーダー。柱頭飾りに配水管が干渉してもウォール・デコの商品特性で問題解消。

デコレーション 坂下内科クリニック(鹿児島市)

建物区分=病院



ウォール・デコを有効活用。ボーダー、窓廻りに採用する事で外観の雰囲気が一変します。



デコレーション 幸福の科学 大阪中央精舎(大阪市)

建物区分=会館



中央台座、左右台座、渦巻き飾り、キーストン付アーチ飾り



パラペットボーダー、肘木とかなりの大きさで見栄えがします。



キーストンとアーチ飾りの取り合いは型枠では困難です。ウォール・デコの活用をお勧めします。

ウォール・デコ 施工写真 ⑩

デコレーション 幸福の科学 越前精舎(福井県越前市)

建物区分=会館



正面底部ボーダー、壁面モール飾りと中段平ボーダー部の紐ボーダーがウォール・デコです。



製品と施工写真



ウォール・デコアンカー取付け



柱頭部飾りの取付け画像です。



壁面のモール飾り、底部ボーダーの取付け画像です。製品同士の取り付け部にシーリング目地を設けます。

デコレーション

製品

幸福の科学 川崎精舎(神奈川県川崎市)

建物区分=会館

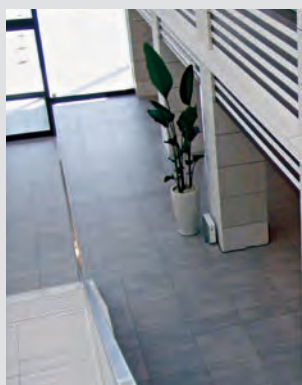


柱頭部キャピタルです。かなり複雑な飾りに成りますがウォール・デコで製作可能です。



デコレーション ザ・リーブス プレミアムテラス(群馬県前橋市)

建物区分=結婚式場

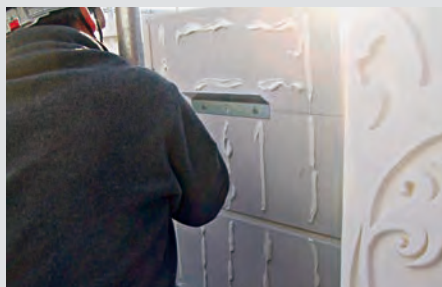


外壁レリーフ⇒FRP、内装モール⇒化粧木材の図面指定でしたが、ウォール・デコの性能が認められ現場採用と成りました。

製品と施工写真



ウォール・デコ補強アンカー取付け。



製品と下地に接着剤を塗布。



製品の取付けにビスを併用しました。

デコレーション

製品

宇佐市立北馬城小学校(大分県宇佐市)

建物区分=学校



学校の校章をウォール・デコレリーフとして作成。校章の細かい部分も綺麗に仕上がっています。



デコレーション

製品と施工写真

〇〇病院(鹿児島県出水市)

建物区分=病院



迫力のある化粧ボーダーです。↑↓



大きな部材ですが、EPS芯材で軽量化を実現しました。



化粧ボーダー



内装にもウォール・デコを採用。壁と天井の見切りボーダー、飾り天井。



壁と天井の見切りボーダー、飾り天井。 下地に対する取付状況。現場合わせが必要な時でも鋸で簡単に切断できます。



デコレーション

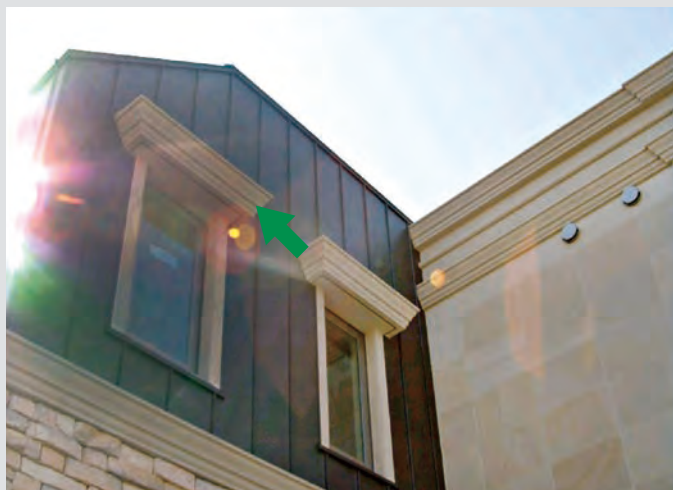
施工写真

〇〇邸(東京都大田区)

建物区分=住宅



パラペットボーダー、モール、ボーダーを巧みに採用し、出隅入隅を大胆に表現。



窓廻りも建物全体の意匠に合わせて設計されています。ボリュームのあるウィンドヘッドが印象的です。

デコレーション

パストラーレ(北海道札幌市)

建物区分=賃貸住宅

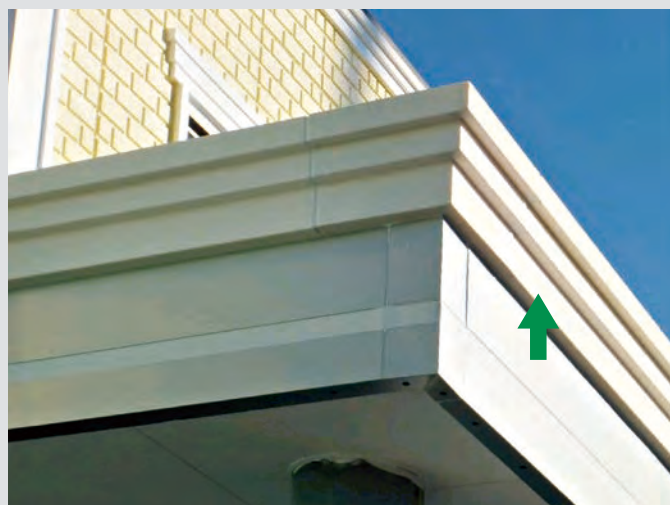


窓廻りに採用。ちょっとした装飾が建物の表情を変えます。



デコレーション ラスパみずき船場(千葉県船橋市)

建物区分=老人ホーム



キーストン付ウィンドヘッドとハーフサークルウィンドヘッド、2種類の窓廻り装飾とボーダーに採用して頂きました。

デコレーション 某会計事務所(福島県白河市)

建物区分=事務所



パラペットボーダーにウォール・デコの採用。建物の外壁と見事な調和を見せています。

施工写真 ○○邸(滋賀県草津市)

建物区分=住宅



木造住宅をリブ柱・アーチ窓枠・角窓枠・化粧モールで装飾。

ウォール・デコ 施工写真 ⑮

デコレーション 鹿児島市中央公民館(鹿児島市)

建物区分=公民館



内装部、Rモール、鮮やかな曲線を見事に表現。梁下の化粧モールは一体物で製作し施工性の良い製品に仕上がりました。ウォール・デコは、新築建造物に取り入れる事は、勿論、既存の建造物をリニューアルする上でも優位な製品です。



舞台袖、柱・梁モールにも被せ付けるだけの加工を施したウォール・デコを採用して頂きました。余計な目地を設けないことで綺麗な仕上りを実現しました。



昭和2年に建設された既存建物は有形文化財です。



梁下化粧モール(内装)

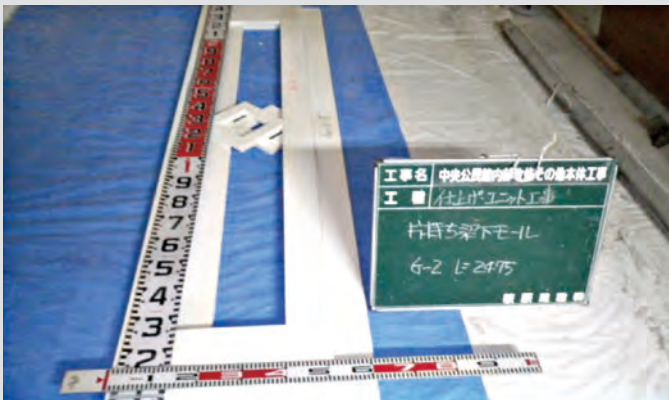


既存建物のウィンドヘッド。細かい彫刻が施されています。

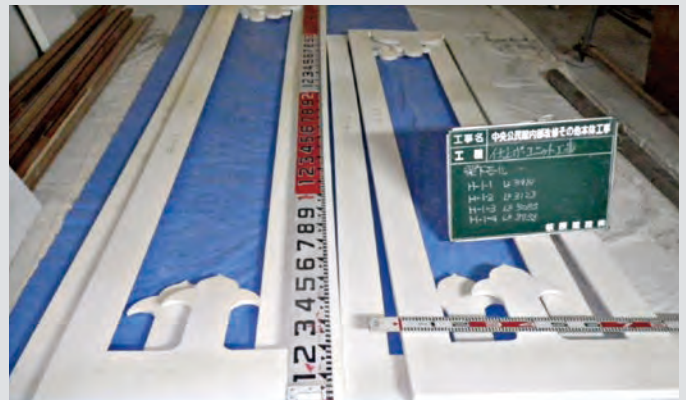


象徴的な紋章をウォール・デコで再現!!

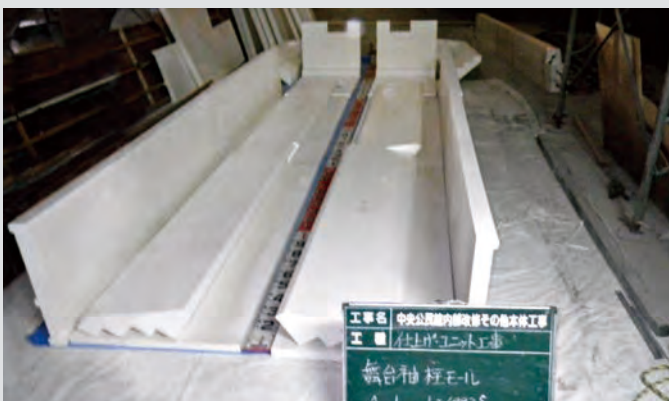
製品



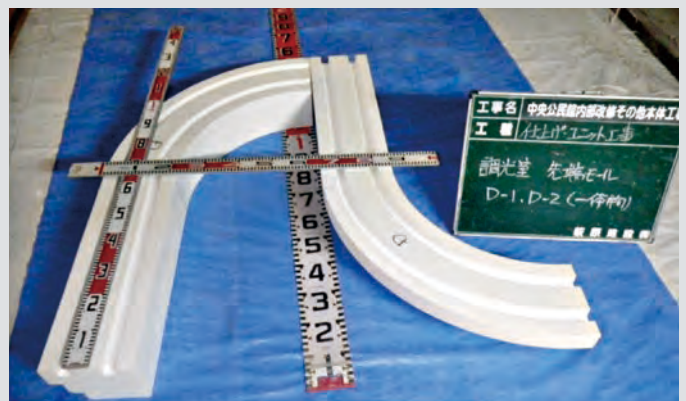
梁下化粧モール①



梁下化粧モール②



舞台袖、柱モール



R化粧モール

ウォール・デコ 施工写真 ①⑥

デコレーション ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド(兵庫県神戸市)



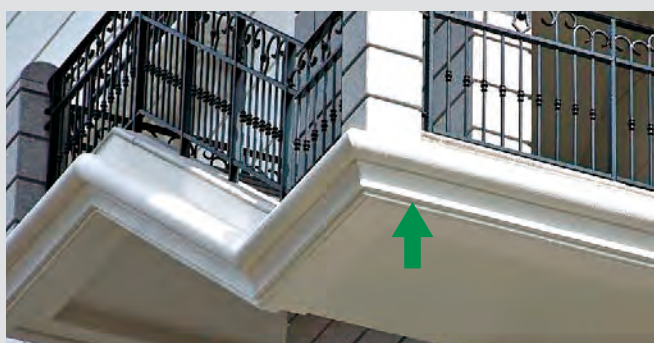
ウォール・デコの採用によりバルコニー鼻先の欠き込み箇所が大幅に減り、型枠の簡素化を図ることが出来ました。軽量で高強度、意匠の自在性、後付施工のウォール・デコは、工期の短縮とコストの削減に大きく役立つ製品です。



バルコニー部のR形状のボーダーとディンテル



窓廻り(窓台、窓額縁、ウィンドウヘッド)



階段廻りボーダー



バルコニー部のコーナーボーダーとディンテル



建物区分=ホテル



バルコニー部のボーダーとキーストン

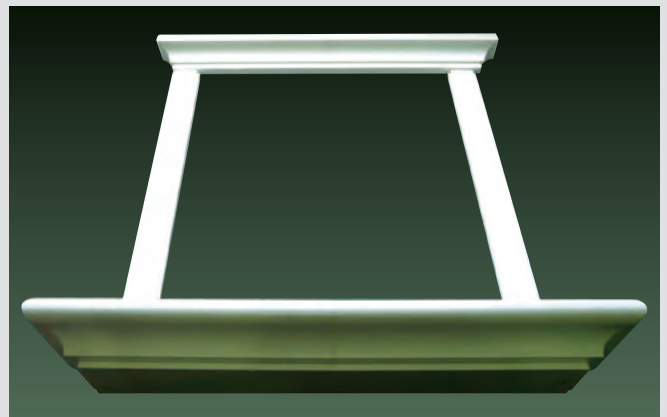


窓廻り(窓台、窓額縁、ウィンドヘッド)



バルコニー部のR形状のボーダーとディンテル

製品



製品サンプルやモックアップの作成も可能です。
自由設計した形を実際に手にする事でイメージの確認が
出来ます。製品サイズ、形状の確認にお役立て下さい。



デコレーション 蟹正宗(仙台市)

建物区分=飲食店



和風レストランの外装をウォール・デコで装飾。他の和風装飾と見事な調和を見せています。

製品



ウォール・デコ中央に竹をあしらった装飾。お店の家紋も製作可能です。一体成形で施工性も良く、美しい仕上がりとなります。



デコレーション オステルリー・ド・コートダジュール(山梨県甲府市)

建物区分=結婚式場



屋根ボーダー(ディンテル付)、勾配部と水平部の取り合いは、型枠では困難です。



ボーダー(ディンテル付)をはじめ柱、窓廻り、化粧モールを様々に取り入れ美しいチャペルの完成です。



デコレーション にしむら珈琲 中山手本店(神戸市)

建物区分=飲食店



看板部



サイン下地



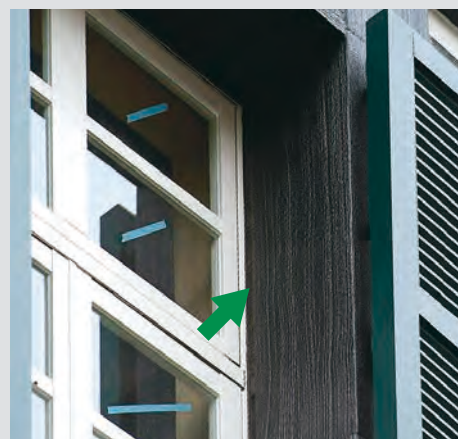
花台



バルコニー部 コーナーモール



窓枠と花台

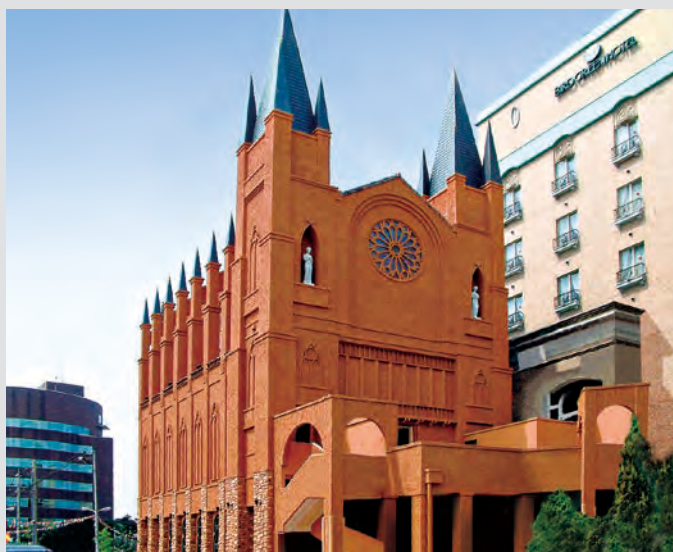


外壁化粧モール・窓廻り等に木目調の装飾です。全てにウォール・デコを採用。黒系の仕上塗装で引き締まった仕上りとなりました。



デコレーション

平安閣バードグリーン(福井市)



ウォール・デコ 装飾がチャペルに表情を与えます。

S邸(石川県金沢市)



リビング、飾り天井。

東横イン(神奈川県藤沢市)



窓廻りに装飾をする事により外壁に表情が生まれます。

ヴィラ・アンジェリカ(滋賀県近江八幡市)



デュオプレステージ(兵庫県高砂市)



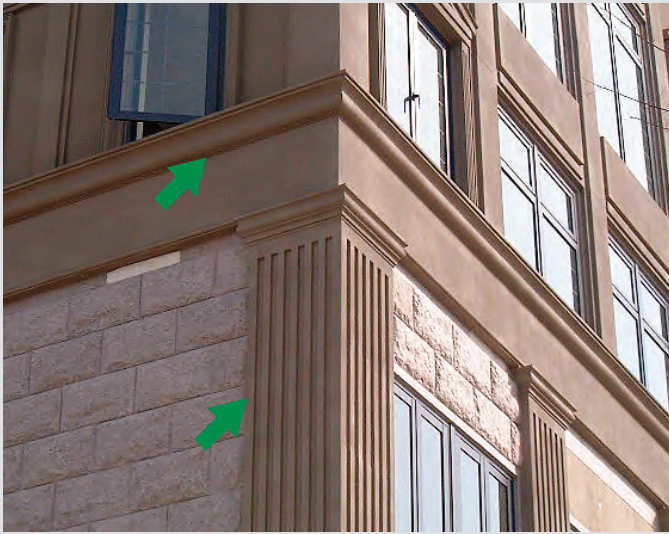
屋上部、擬宝珠(ぎぼし)。





デコレーション

MYビル(静岡県浜松市)



ビルの柱、ボーダー。

ホテルメッツ(福島市)

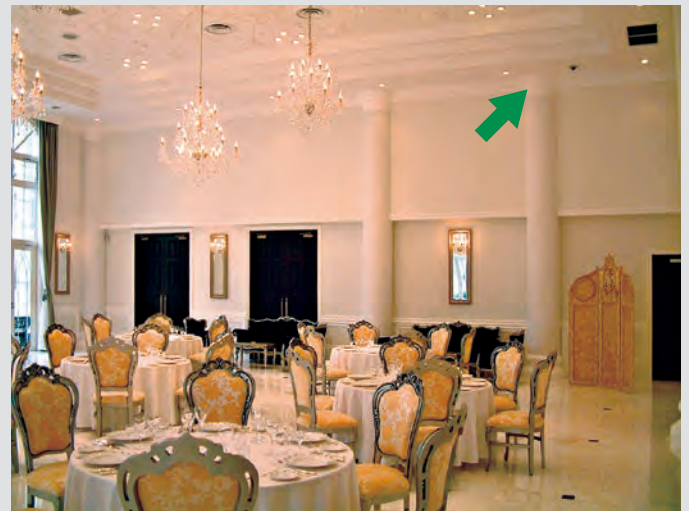


ホテルの軒先、ボーダー。

ローズガーデン(福井市)



結婚式場の内・外装の装飾はウォール・デコにお任せ下さい。

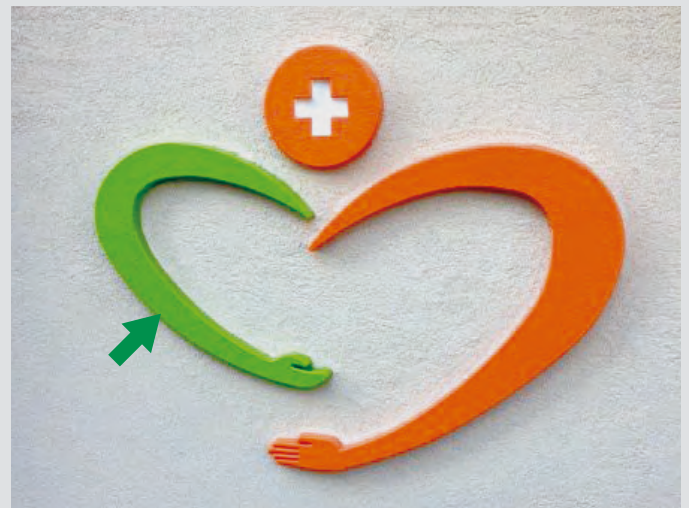


ステーキのどん(埼玉県春日部市)



外装のアクセントにレリーフ装飾を採用して頂きました。

ほほえみの郷東戸塚(横浜市)





デコレーション

ヒルトンホテル(神奈川県小田原市)



アイネスヴィラノッツェ大阪(大阪市)



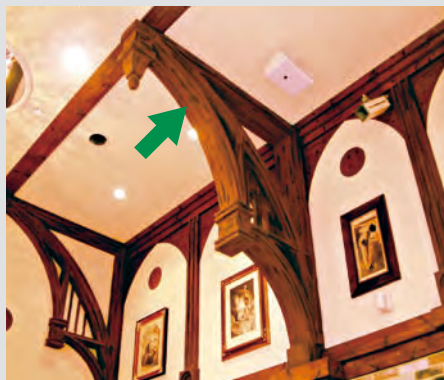
まきば園(埼玉県さいたま市)



アイネスヴィラノッツェ大阪(大阪市)



ベルグレイブ(福井県敦賀市)



聖・虹の郷(福島県白河市)



ウォール・デコ最大の魅力は、自由設計が可能な事です。皆様の発想を形に変えましょう。



弊社では、ウォール・デコをお客様に安定供給するため、ご注文のタイミングに応じ生産工場の調整を行なっております。ウレタンタイプの場合、【A仕様】【B仕様】の取り扱いと成ります。ベース材とウレタンの組合せは異なりますが、ベース材とウレタンの相性を考慮した組合せと成っており性能試験においても同等の性能を持つ製品と成っております。(お客様の仕様の指定は、出来ませんのでご了承ください)

ベース材：EPS難燃タイプ (ビーズ法ポリスチレンフォーム) 国際品質保証ISO-9001認定

【A仕様】

【B仕様】

特性	単位	フォームポリスチレン		適用
密度	kg/m ³	23kg	19kg	JIS A 9511
熱伝導率	W/m・k	0.040以下	0.043以下	JIS A 9511
	(平均温度20℃)			
曲げ強さ	N/m ²	22以上	15以上	JIS A 9511
圧縮強さ	N/m ²	8以上	5以上	JIS A 9511
吸水量	g/100cm ²	1.0以下	1.5以下	JIS A 9511
透湿係数	ng/m ² .s.Pa	250以下	290以下	JIS A 9511
	(厚さ25mm当たり)			
燃焼性	3秒以内に炎が消えて、残じんが無く燃焼限度指示線を越えて燃焼しないこと。			

表面塗布材試験結果

フォームライト
EC-4322

エフウレタン
SH-100R & SH-4000N

硬度	ショアーD	D62	D70	
比重		1.04	1.05	JIS K 6911
引張強さ	N/cm ²	1600	1800	JIS K 7312
伸び	%	40	40	JIS K 7312
引裂強さ	N/cm	400	901	JIS K 7312 B型
曲げ強さ	N/cm ²	1160	999	JIS K 6911
曲げ弾性率	Mpa	230	333	JIS K 6911
耐熱性		自消性	不燃性	JIS K 6911 A法

ウォール・デコ 納入実績表

Wall Decoration



現場名	施工業者(ゼネコン)	設計業者	施工日
トヨタビル	松永建設 株式会社	(株)アートジャパンナガセ設計	2014.05
フラワーガーデン便所棟 増築工事	クリテック北陸	アーバンデザイン設計	2014.04
フラワーガーデンアベニュー 増築工事	松井建設(株)北陸支店	アーバンデザイン設計	2014.04
(仮称)TAKEYAたけやグループ7号マンション 新築工事	(株)小山建設	木下直樹一級建築士事務所	2014.03
サンスクエア新涯 新築工事	富士建設(株)	(有)吉田建築設計事務所	2014.02
古市様邸	(株)高増工務店	(株)高増工務店	2014.01
金町マンション 新築工事	株式会社 アクシス	(株)アクシス	2014.01
ロイヤルグレイス大聖堂	技建工業(株)	アーバンデザイン設計	2014.01
セレモニア富士矢祭館	りんかい日産建設(株)	(株)フケタ設計	2014.01
神村学園耐震補強・外壁改修工事	(株)植村組	東条設計(株)	2013.12
ザ・ラグシエナ 新築工事	川上建設・大藤建設JV	(株)デザインワークス	2013.12
(仮称)住吉山手2丁目計画I 新築工事	(株)山田工務店	(株)アトリエフルタ建築研究所	2013.12
西光寺納骨堂 新築工事	(株)大藪組	(株)堂宮	2013.11
ルシエルアンジュ水戸	クレハ錦建設(株)	(株)ケン設計工房	2013.11
中央区安堂寺町2丁目PJ	藤井建設(株)	積水ハウス(株)一級建築士事務所	2013.10
池田内科胃腸科医院 新築工事	新企工業(株)	(株)眞設計室	2013.10
学校法人純心女子学園 改修工事	九州建設(株)	(株)溝上建築設計事務所	2013.10
南湖専門学校 改修工事	馬淵建設(株)	(株)ZAI	2013.09
中村ビル	株式会社 安藤・間	株式会社 安藤・間	2013.09
下野市斗特養老人ホーム	東武建設(株)	(株)玉野建築設計事務所	2013.09
日本パプテスト大阪教会	(株)藤木工務店	(株)藤木工務店一級建築士事務所	2013.08
下関アルカポート	東亜建設工業(株)	SENYO	2013.08
海星女子学院中高棟 改修工事	(株)竹中工務店	(株)竹中工務店	2013.08
ルフォン高輪台マンション 新築工事	前田建設工業(株)	前田建設工業(株)	2013.08
八雲迎賓館 新築工事	石黒建設(株)	(株)走坂建築設計事務所	2013.07
長岡ベルナル新チャペル 新築工事	(株)中越興業	(株)吉村建築事務所	2013.07
中津中学校屋内運動場 建設工事	(株)梶原組・(株)ミツワJV	是本設計	2013.07
明舞幼稚園改築小路	(株)村上工務店	瀬戸本淳建築研究所	2013.06
光里苑 新築工事	小牧建設(株)	志賀・田島設計共同企業体	2013.06
介護老人福祉施設	松尾建設(株)	(株)新環境設計	2013.06
ナイスエアアリーナ星川 新築工事	鉄建建設(株)	長谷工コーポレーションエンジニアリング部	2013.01
ほほえみの郷東戸塚 新築工事	大洋建設(株)	大洋建設(株)一級建築士事務所	2012.11
北馬城小学校校舎 改修工事	末宗組・末宗建設JV	身深一級建築士事務所	2012.07
高根町4丁目計画	佐藤工業(株)	佐藤工業(株)一級建築士事務所	2012.07
北陸学園新校舎及び新体育館 新築工事	(株)熊谷組	石本・センボー設計管理JV	2012.06
メゾンほうづきII	美里建設(株)	美里建設(株)	2012.06
巣鴨マンションII 新築工事	石川建設	(株)ZAI	2012.03

《施工時、及び保管時の注意点》

●ウォール・デコ の近くでの火気にはご注意願います。

また変形可能性がありますので高温物を近づけないようにして下さい。

●ウォール・デコ に強い衝撃を与えないよう運搬時、及び施工時には十分お気をつけ下さい。

●取付け時には、接着面が良く乾燥している事をご確認のうえ、接着して下さい。

●ウォール・デコ を切断した場合には、切断面の補修が必要となります。

※その他ご不明な点につきましては、当社までお問い合わせ下さい。



- 商品の使用に当たっては、注意事項をご確認の上、正しくご利用ください。また、本商品の正規の使用目的、用途、方法以外に使用された場合には責任を負いかねますのでご了承ください。
- カタログ記載の規格・仕様は製品改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

MARUI



本社 〒733-8616広島市西区商工センター1-1-46

<https://www.marui-sangyo.jp/>

☎営業所

札幌	011 786 0101	南埼玉	050 3129 0101	静岡	054 283 0101	大阪北	072 820 0101	北九州	093 603 0101
旭川	050 3151 0101	熊谷	050 3116 0101	沼津	050 3145 0101	大阪東	072 962 0101	福岡	092 474 0101
千歳	050 3174 0101	千葉	043 232 0101	浜松	053 464 0101	大阪南	072 250 0101	久留米	0942 30 0101
函館	050 3144 0101	成田	050 3110 0101	名古屋	052 712 0101	池田	072 777 0101	佐賀	0952 26 0101
青森	017 753 0101	船橋	047 431 0101	名古屋	052 770 0101	神戸	078 578 0101	佐世保	0956 34 0101
秋田	018 863 0101	柏	050 3172 0101	小牧	0568 73 0101	姫路	079 235 0101	長崎	095 848 0101
山形	023 624 0101	君津	0439 55 0101	三河	0566 77 0101	奈良	0744 32 0101	熊本	097 556 0101
盛岡	050 3132 0101	東京	03 5626 0101	豊橋	050 3092 0101	和歌	073 477 0101	大分	096 389 0101
仙台	022 788 0101	南東京	03 3799 0101	岐阜	058 246 0101	南紀	050 3127 0101	八代	050 3114 0101
仙台北	050 3102 0101	西東京	03 3301 0101	三重	059 226 0101	岡山	086 243 0101	延岡	0985 51 0101
福島	024 545 0101	北東京	03 5647 0101	四日市	050 3093 0101	南日本	0859 35 0101	宮城	050 3128 0101
郡山	024 961 0101	八王子	042 646 0101	富山	076 422 0101	出雲	050 3177 0101	都	050 3154 0101
栃木	028 656 0101	多摩	042 369 0101	金沢	076 260 0101	福山	084 926 0101	鹿児島	099 253 0101
新潟	025 286 0101	横浜	045 474 0101	福井	0776 23 0101	広島	082 501 0101	種子島	ご連絡は鹿児島まで
長岡	0258 21 0101	南横浜	045 813 0101	敦賀	050 3096 0101	山口東	0834 25 0101	沖縄	098 954 0101
群馬	027 346 0101	厚木	046 228 0101	滋賀	077 582 0101	山口西	083 283 0101	宜野湾	098 898 0101
水戸	029 248 0101	川崎	044 799 0101	京都	075 778 0101	高松	087 886 0101	石垣	ご連絡は沖縄まで
茨城	0298 24 0101	山梨	055 275 0101	福知山	050 3106 0101	徳島	088 625 0101		
埼玉	048 685 0101	長野	026 259 0101	大阪	06 4394 0101	松山	089 952 0101		
西埼玉	049 262 0101	松本	050 3135 0101	大阪彩都	072 647 0101	高知	088 866 0101		

FAX 営業所

札幌	011 783 0101	南埼玉	050 3129 0300	静岡	054 288 0101	大阪北	072 824 0101	北九州	093 602 0101
旭川	050 3152 0101	熊谷	050 3164 0101	沼津	050 3173 0101	大阪東	072 911 1000	福岡	092 483 0101
千歳	050 3114 0300	千葉	043 234 0101	浜松	053 466 0101	大阪南	072 258 0101	久留米	0942 36 0101
函館	050 3149 0101	成田	050 3110 0300	名古屋	052 711 0101	池田	072 770 0101	佐賀	0952 65 0101
青森	017 728 0101	船橋	047 495 0101	名古屋	052 747 0101	神戸	078 512 0101	佐世保	0956 55 0300
秋田	018 864 0101	柏	050 3107 0300	小牧	0568 72 0101	姫路	079 234 0101	長崎	095 843 0101
山形	023 625 0101	君津	0439 54 0101	三河	0566 72 0101	奈良	0744 33 0101	大分	097 553 0101
盛岡	050 3134 0101	東京	03 5628 0101	豊橋	050 3120 0300	和歌	073 475 0101	熊本	096 349 0101
仙台	022 782 0101	南東京	03 3790 0101	岐阜	058 247 0101	南紀	050 3127 0300	八代	050 3100 0300
仙台北	050 3098 0300	西東京	03 5382 0101	三重	059 227 0101	岡山	086 245 0101	宮崎	0985 50 0101
福島	024 546 0101	北東京	03 5838 0101	四日市	050 3121 0300	南日本	0859 23 0101	延岡	050 3128 0300
郡山	024 941 0101	八王子	042 697 0101	富山	076 493 0101	出雲	050 3117 0300	宮城	050 3158 0101
栃木	028 664 0101	多摩	042 362 0101	金沢	076 263 0101	福山	084 928 0101	鹿児島	099 286 0101
新潟	025 287 0101	横浜	045 476 0101	福井	0776 26 0101	広島	082 279 0101	種子島	ご連絡は鹿児島まで
長岡	0258 46 0101	南横浜	045 814 0101	敦賀	050 3123 0300	山口東	0834 26 0101	沖縄	098 969 0101
群馬	027 377 1000	厚木	046 229 0101	滋賀	077 583 0101	山口西	083 255 0101	宜野湾	098 890 0101
水戸	029 247 0101	川崎	044 754 0101	京都	075 777 0101	高松	087 805 0300	石垣	ご連絡は沖縄まで
茨城	0298 26 0101	山梨	055 251 0101	福知山	050 3099 0300	徳島	088 655 0101		
埼玉	048 687 0101	長野	026 235 0101	大阪	06 6554 0101	松山	089 965 0101		
西埼玉	049 264 0101	松本	050 3138 0101	大阪彩都	072 853 0101	高知	088 861 0101		